

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	義肢装具学実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部 3年	学 期	前期	教室名	義肢装具加工室
担 当 教 員	谷合 義旦/西出 義明				
実務経歴と その関連資格	<p>西出:高槻赤十字病院、もり整形外科リウマチクリニック、みなせフォレスト整形リハビリクリニック(身体障害領域)にて37年間、勤務。認定作業療法士・手外科専門作業療法士・日本ハンドセラピー学会認定ハンドセラピスト・日本ハンドセラピー学会講師・第28回日本ハンドセラピー学会会長・第1回日本中部半ドセラピー研究会代表世話人・日本手外科学会準会員・日本肘関節学会準会員・中部日本手外科研究会会員・中部日本ハンドセラピー研究会世話人・大阪府作業療法士会手外科研究会代表</p> <p>谷合:兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院に作業療法士として勤務。上肢切断はじめ脊髄損傷・リウマチ等の整形外科的疾患および脳卒中等の内科的疾患を中心に15年間勤務。特に上肢切断(者)に関する研究班であるアームプロジェクトの一員として義手の工夫や開発に従事。いろいろな切断レベル(上腕・前腕・両側など)の症例年間約10~15例担当。そのうち約50~60%に仮義手を製作し早期義手装着訓練に取り組む。また、昭和62年日本義肢装具学術研究会会員となり研究開発と発表を行う。平成5年11月・日本義肢装具学会 飯田賞奨励賞受賞</p>				

《授業科目における学習内容》

西出:ハンドセラピー分野での装具療法は手の機能回復に必須である。また身体障害分野だけでなく小児、精神科などでも装具療法は応用できる。その基礎と作製技術を獲得し将来の患者さんの治療に役立てていただけるよう実践的な授業を行う。

《成績評価の方法と基準》

定期試験 100%(谷合50%・西出50%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書 ・作業療法全書 第9巻(協同医書)
参考図書 ・メンタルビュー 「リハ実践テクニック ハンドセラピー」
・義肢装具学 第4版川村次郎編集(医学書院)
・切断と義肢 澤村誠志著(医歯薬出版)

《授業外における学習方法》

西出:装具作製にあたり手の解剖学、運動学、各疾患の基礎知識として必要です。1年生、2年生で学習したことはしっかりと理解しておいてください。

《履修に当たっての留意点》

西出:手の解剖学・運動学・外傷手・手指の変形のパターンなど復習しておいてください。基礎ができてないと応用に繋がられません。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	上肢切断の特徴(原因・切断レベル・断端ケア)	・配布資料 ・印刷教材	・小テスト勉強 ・配布資料
	各コマにおける授業予定	・授業オリエンテーション ・上肢切断とは ・義肢と装具の違い		
第2回	授業を通じての到達目標	義手の種類と特徴(構成要素・各部の名称)	・配布資料 ・印刷教材	・小テスト勉強 ・配布資料
	各コマにおける授業予定	・小テスト ・断端ケアの方法 ・能動義手の構成と特徴		
第3回	授業を通じての到達目標	能動(仮)義手の製作(構成要素・各部の名称など)	・配布資料 ・印刷教材	・小テスト勉強 ・配布資料
	各コマにおける授業予定	・仮義手製作(デモンストレーション) ・仮義手製作で用いる道具・部品・材料・手順		
第4回	授業を通じての到達目標	仮義手(上腕能動義手)による適合判定:1(デモンストレーション)	・配布資料 ・印刷教材	・小テスト勉強 ・配布資料 ・参考書(チェックポイント)
	各コマにおける授業予定	・適合判定で用いる様式・道具・手順・記録 ・問題点の把握とその対策		
第5回	授業を通じての到達目標	能動仮義手による適合判定:2(デモンストレーション)	・配布資料 ・印刷教材	・小テスト勉強 ・配布資料 ・参考書(チェックポイント)
	各コマにおける授業予定	・適合判定で用いる様式・道具・手順・記録 ・問題点の把握とその対策		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	義手の訓練（基本・応用・実用訓練）	・配布資料 ・印刷教材	・小テスト勉強 ・配布資料
	各コマにおける授業予定	・小テスト ・能動義手訓練の手順 ・症例紹介（義手の使用状況）		
第7回	授業を通じての到達目標	上肢切断者の・作業療法・リハビリテーション	・配布資料 ・印刷教材	・小テスト勉強 ・配布資料
	各コマにおける授業予定	・小テスト ・生活における義手の役割 ・症例紹介（義手の使用状況）		
第8回	授業を通じての到達目標	装具療法の原理・原則を理解する	配布資料・教科書	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識
	各コマにおける授業予定	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識		
第9回	授業を通じての到達目標	Dynamic rubber traction type splintの原理と採型を学ぶ	・配布資料・教科書	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識
	各コマにおける授業予定	Dynamic rubber traction type splintの原理と採型を学ぶ		
第10回	授業を通じての到達目標	Dynamic rubber traction type splintの原理と採型を学ぶ	・配布資料・教科書	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識
	各コマにおける授業予定	Dynamic rubber traction type splintの原理と採型を学ぶ		
第11回	授業を通じての到達目標	Screw splint(joint jack)の原理と採型を理解する	配布資料・教科書	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識
	各コマにおける授業予定	Screw splint(joint jack)の作製・チェック・講義		
第12回	授業を通じての到達目標	Ring splintの原理と疾患への効果を学び作製する	配布資料・教科書	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識
	各コマにおける授業予定	Ring splintの原理の学習・作製		
第13回	授業を通じての到達目標	Cock up splintの原理と疾患への効果を学び作製する	配布資料・教科書	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識
	各コマにおける授業予定	Cock up splintの原理と疾患への効果を学び作製する		
第14回	授業を通じての到達目標	短対立装具の原理と疾患への効果を学び作製する	配布資料・教科書	手の解剖学・運動学、各疾患の基礎知識
	各コマにおける授業予定	短対立装具の原理と疾患への効果の学習・作製		
第15回	授業を通じての到達目標	国家試験に向けた問題を理解する　まとめ	配布資料・教科書	応用・国家試験に対する対応
	各コマにおける授業予定	国家試験問題　・まとめ		